

グランドデザインの役割

- 目指すべき練馬の都市の姿とその実現に向けたまちづくりの方針や方策を示すもの
- 目標時期として、30年後の2047年ごろを設定

社会状況や技術革新の見込み

社会状況の見込み

- 地域で過ごす人の増加
- 高齢者＝日常的な歩行距離が短い人の増加
- 高齢単独世帯の増加
- 働き方やライフスタイルの多様化
- 防災性に優れたまちづくりへの意識・関心の高まり
- リニア中央新幹線開業等により、人々の移動や居住地選択の幅が広がる

技術革新の見込み

- 自動運転技術の進展
- 新たな乗り物の普及
- ICT技術の進展で情報の共有が円滑化

練馬区の現況・課題

強み

- みどり豊かで環境が良い(23区一の緑被率、23区一の農地面積)
- 戸建て住宅を中心とした良好な住宅都市
- バランスが取れた公共施設の分布
- 今後の都市インフラ整備の進展
- 高齢化は進展するも年少人口の推移は安定

弱み

- 都市インフラ整備の地域的な偏在
- 車と自転車と歩行者が混在する生活道路
- 生活密着型を中心とした産業立地、商店街も含めた規模の縮小傾向
- 区南西部の商業集積地(拠点)の少なさ

機会(予想されているインフラ整備)

- 都営地下鉄大江戸線の延伸・新駅周辺のまちづくり
- 外環の2の整備
- 西武新宿線の立体化・駅周辺の基盤整備
- 都市計画公園(練馬城址公園)の整備

脅威

- みどりの減少
- 生産緑地の2022年問題 農地の減少
- 都市間競争の激化(住宅都市としての競争相手は、東京西部から東京東部、多摩エリア、リニア通勤圏まで拡大)
- 公共施設の維持・管理の負担増加

基本とする方針

みどり豊かな環境の中で
誰もが安全・快適に
暮らし続けられる住宅都市

東京都市圏の「新都市生活創造域」に位置する住宅都市として、多様なライフスタイルや日常生活の質の向上に向けたニーズに対応し、都市の利便性とみどり豊かな環境が兼ね備えたまちを目指す。

目指すべき都市像

住宅と農地が共存する
まちの中で
農の魅力があふれる都市

豊かなみどりを備えた
幹線道路が人々の安全と
健康を支える都市

利便性と魅力にあふれた
駅周辺と快適に暮らせる
住宅地を備えた都市

豊かな自然の中で
多様な活動を楽しめる場が
広がる都市

有識者委員会での主な議論(都市づくりの方向性と取組み)

【方向性】
多世代が便利に豊かに暮らせる生活圏づくり

1. 個性のある住宅地を形成し、駅周辺のまちの魅力を向上
2. 既存施設を活かし生活圏内に横断的な相談機能を充実
3. 公的施設と共に、空き家を含めた民間施設を活用し、地域の居場所や活動の場を創出
4. 利便性だけでなく健康維持の視点に配慮し、都市インフラを整備
5. 地域コミュニティにおける商店街等の役割・機能を再評価

【方向性】
農の魅力があふれ
みどりと水が連なる都市の構築

1. 「恵み」や「楽しみ」をもたらす都市農地の保全
2. 道路等の整備と一体となったみどりのネットワークを整備
3. 練馬のアイデンティティーとしてのみどり(農地)の保全
4. 水とみどりのネットワークと農地の空間的エリアの組合せによる地域ごとの特色付け

【方向性】
快適な移動を支える道路の整備

1. 幹線道路ネットワークの整備と生活道路の安全性の向上
2. 人・車・自転車が安全・快適に移動できる道路空間を整備
3. 高齢化を見据え、きめ細かな公共交通システムを構築
4. 将来の多様な交通を想定し、道路空間を整備
5. 幹線道路を区民の活動を支える公共空間として活用

【方向性】
都市の活力・にぎわいの向上

1. 都市空間を活用し、新たなにぎわいの場を創出
2. 駅周辺への商業施設の集積と安全・快適に過ごし買物ができる商店街づくり

【方向性】
安全・安心に優れた都市の構築

1. みどりや農地の多面的機能を活かし、都市の防災性を向上
2. 災害時にも生活を継続できる安全・安心な住宅地を目指し、自立分散型エネルギーシステムを導入

【方向性】
文化・芸術・スポーツを楽しむ空間づくり

1. 都市空間を活用し、文化・芸術・スポーツを楽しむ場を創出
2. 公共施設の再編により施設を多機能型化し、文化・芸術・スポーツの拠点を整備

実現に向けた取組み

- 戦略の達成状況を示す適切な目標(数値)の設定と評価
- 区民参加・協働の機会の創出
- 分野横断型の取組みを可能とする仕組みづくり(主に庁内体制)
- 地域や民間の自主的な取り組み(まちづくり活動、地域の維持・管理)の促進
- 練馬の強みを継承する「練馬ルール」の検討

など

基本方針

みどり豊かな環境の中で誰もが安全・快適に暮らし続けられる住宅都市

《基本方針の構成要素》

1. 鉄道と交通の結節機能の充実と幹線道路のネットワーク
2. 水とみどりのネットワーク（生物多様性、都市の快適性など）
3. 高齢者、子ども（区内で多くの時間を過ごす人々）の暮らしを支えるネットワーク（近隣住区的）
4. 東京都市圏における練馬のポジション

- 高齢者が健康に暮らせる都市
- エネルギーシステムと連動した、防災性に優れた、安全・安心なまち
- 助け合いを可能にする地域社会
- みどりの「恵」を実感できるまち
- 高齢化格差を広げない、若年層世帯を受け入れるまち
- 住宅都市としての特性の打ち出し、住宅地の質の向上

- 30年後見据え、都市構造の転換を進めるべき
- 高齢化の進展や働き方の変化に対応した都市構造を示すべき
- 東京都の新たな地域区分における練馬区のポジションに留意すべき
- 生態系も含め、緑が広域でつながるまち（グリーンネットワーク）を形成すべき
- 小学校区程度を単位とした、地域の交流や活動の中心となる場づくりが必要

都市づくりの方向性と取組み

【方向性】 多世代が便利に豊かに暮らせる生活圏づくり

1. 個性のある住宅地を形成し、駅周辺のまちの魅力を向上
2. 既存施設を活かし生活圏内に横断的な相談機能を充実
3. 公的施設と共に、空き家を含めた民間施設を活用し、地域の居場所や活動の場を創出
4. 利便性だけでなく健康維持の視点に配慮し、都市インフラを整備
5. 地域コミュニティにおける商店街等の役割・機能を再評価

- 小地域を単位とした、生活の安心を支えるサービスを受けられる拠点の整備
- 既存施設の有効活用
- 商店街等と連携した高齢者の生活を支えるサービスの展開
- 小学校区程度を単位とした、地域の交流や活動の中心となる場づくり
- 地域の需要、ニーズに応じた空き家や施設の活用
- 地域間の高齢化格差の解消（光が丘団地の将来対策）
- 地区間格差の是正（若年層の迎え入れ）のための、計画的な宅地化

【方向性】 農の魅力があふれみどりと水が連なる都市の構築

1. 「恵み」や「楽しみ」をもたらす都市農地の保全
2. 道路等の整備と一体となったみどりのネットワークを整備
3. 練馬のアイデンティティーとしてのみどり（農地）の保全
4. 水とみどりのネットワークと農地の空間的エリアの組合せによる地域ごとの特色付け

- 農・住混合の魅力を実感できるまち（「恵み」を実感できるまちづくり）
- 農地の保全・活用
- みどりの多面的機能（防災、環境、生物多様性）の発揮
- 連続した空間の整備など、河川についても計画の中にしっかり入れたほうが良い

【方向性】 快適な移動を支える道路の整備

1. 幹線道路ネットワークの整備と生活道路の安全性の向上
2. 人・車・自転車安全・快適に移動できる道路空間を整備
3. 高齢化を見据え、きめ細かな公共交通システムを構築
4. 将来の多様な交通を想定し、道路空間を整備
5. 幹線道路を区民の活動を支える公共空間として活用

- 超高齢社会に備えた「交通」を考え、幹線道路を整備すべき
- 幹線道路を整備することで、生活道路の安全性の向上や道路空間のまちづくり活用が可能になる
- 長い距離を歩けない高齢者に対応し、きめ細かな公共交通システムが必要
- ガソリン車はなくなり、超小型EVや（電動）自転車がまちなかを走る
- 幹線道路はグリーンインフラ、公共交通軸として、区民の活動を支える

【方向性】 都市の活力・にぎわいの向上

1. 都市空間を活用し、新たなにぎわいの場を創出
2. 駅周辺への商業施設の集積と安全・快適に過ごし買物ができる商店街づくり

- 自分から街に出たくなる、歩きたくなる、魅力あるまちづくり
- 道路空間を活用した賑わい創出（歩行者天国、イベントの開催）
- ゆっくり歩ける商店街

【方向性】 安全・安心に優れた都市の構築

1. みどりと農地の多面的機能を活かし、都市の防災性を向上
2. 災害時にも生活を継続できる安全・安心な住宅地を目指し、自立分散型エネルギーシステムを導入

- 区全体として環境対策に取り組むことを打ち出しても良い
- 住宅都市では環境・エネルギー対策のターゲットは 拠点エリアと 住宅地
- 市民に響く打ち出し（防災、安心・安全など）、区民協働による取組みの実施

【方向性】 文化・芸術・スポーツを楽しむ空間づくり

1. 都市空間を活用し、文化・芸術・スポーツを楽しむ場を創出
2. 公共施設の再編により施設を多機能型化し、文化・芸術・スポーツの拠点を整備

- 道路で、文化的な出し物、大道芸や演奏ができるスペースを作れると良い
- 公共施設の再編による多機能型施設の設置（公共施設の多目的利用）

実現化方針

- 戦略の達成状況を示す適切な目標（数値）の設定と評価
- 区民参加・協働の機会の創出
- 分野横断型の取組みを可能とする仕組みづくり（主に庁内体制）
- 地域や民間の自主的な取組み（まちづくり活動、地域の維持・管理）の促進
- 練馬の強みを継承する「練馬ルール」の検討

など

- 目標設定による確実な推進と実現に向けた横通しの組織づくり
- 地区別の「恵み」の指標化
- 多様なデータを活用した施策の評価
- 地域が主体的に地域の価値を高める、協働のフレームワーク
- コミュニティ・ベースド・プランニング（機会と場所を面的、戦略的につなぐ）
- 農地を残す開発ルールづくり

住宅と農地が共存するまちの中で
農の魅力があふれる都市

(メインとなる方向性)

【方向性】農の魅力があふれみどりと水が連なる都市の構築

(関連する方向性と取組み)

【方向性】多世代が便利に豊かに暮らせる生活圏づくり
1. 個性のある住宅地を形成し、駅周辺のまちの魅力を向上

【方向性】都市の活力・にぎわいの向上
1. 都市空間を活用して新たなにぎわいの場を創出

【方向性】安全・安心に優れた都市の構築
1. みどりや農地の多面的機能を活かし、都市の防災性を向上

利便性と魅力にあふれた駅周辺と
快適に暮らせる住宅地を備えた都市

(メインとなる方向性)

【方向性】多世代が便利に豊かに暮らせる生活圏づくり

【方向性】都市の活力・にぎわいの向上

(関連する方向性と取組み)

【方向性】快適な移動を支える道路の整備
1. 幹線道路ネットワークの整備と生活道路の安全性の向上
3. 高齢化を見据え、きめ細かな公共交通システムを構築

【方向性】安全・安心に優れた都市の構築
2. 災害時にも生活を継続できる安全・安心な住宅地を目指し、自立分散型エネルギーシステムを導入

【方向性】文化・芸術・スポーツを楽しむ空間づくり
1. 都市空間を活用し、文化・芸術・スポーツを楽しむ場を創出

豊かなみどりを備えた幹線道路が
人々の安全と健康を支える都市

(メインとなる方向性)

【方向性】快適な移動を支える道路の整備

(関連する方向性と取組み)

【方向性】多世代が便利に豊かに暮らせる生活圏づくり
5. 利便性だけでなく健康維持の視点に配慮し、都市インフラを整備

【方向性】農の魅力があふれみどりと水が連なる都市の構築
3. 道路等の整備と一体となったみどりのネットワークを整備

【方向性】都市の活力・にぎわいの向上
1. 都市空間を活用し、新たなにぎわいの場を創出

【方向性】安全・安心に優れた都市の構築
1. みどりや農地の多面的機能を活かし、都市の防災性を向上

【方向性】文化・芸術・スポーツを楽しむ空間づくり
1. 都市空間を活用し、文化・芸術・スポーツを楽しむ場を創出

豊かな自然の中で多様な活動を
楽しめる場が広がる都市

(メインとなる方向性)

【方向性】文化・芸術・スポーツを楽しむ空間づくり

(関連する方向性と取組み)

【方向性】農の魅力があふれみどりと水が連なる都市の構築
4. 水とみどりのネットワークと農地の空間的エリアの組合せによる地域ごとの特色付け

【方向性】都市の活力・にぎわいの向上
1. 都市空間を活用し、新たなにぎわいの場を創出